

Wireless Broadband Router

4ポートスイッチングHUB機能付ブロードバンド無線ルータ

BroadStar
Broadband Router

LD-WBBR4



必ずお読みください	P1～15
接続する	P16, 17
コンピュータ側の設定	P18～21
インターネットへの接続	P22～29
無線LANの設定	P30～35
設定ユーティリティのリファレンス	P36～52
プリントサーバ機能	P53～56
必要に応じてお読みください	P57～63

User's Manual

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- 本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートはおこなっておりません。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および™は省略させていただきました。

4ポートスイッチングHUB機能付
ブロードバンド無線ルータ



LD-WBBR4

User's Manual ユーザーズマニュアル

■ はじめに ■

この度は、弊社ラニードの4ポートスイッチングHUB機能付ブロードバンド無線ルータ"LD-WBBR4"をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、"LD-WBBR4"をコンピュータに導入するにあたっての手順が説明されています。また、お客様が"LD-WBBR4"を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。なお、このマニュアルでは一部の表記を除いて"LD-WBBR4"を「本製品」と表記しています。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

●このマニュアルで使われている記号

記 号	意 味
	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。
	キーボード上のキーを表わします。

安全にお使いいただくために

Lanreed

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

	警 告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
	注 意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。



警 告



小さな子供のいるそばで、取り付け取りはずしの作業をおこなわないでください。
また、子供のそばに工具や部品を置かないようにしてください。
けがや感電をしたり、部品を飲み込んだりする危険性があります。



本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ずコンピュータ本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。



本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。



本製品から煙やへんな臭いがしたときは、直ちにACコンセントからACアダプタを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品に水などの液体や異物が入った場合は、直ちにACコンセントからACアダプタを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品を水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。



本製品の取り付け、取りはずしの際は慎重に作業をおこなってください。
強引な着脱は、機器の故障や、けがの原因になります。



本製品を次のようなところで使用しないでください。

- ・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
- ・静電気の発生するところ、火気の周辺



長期間、本製品を使用しないときは、ACアダプタを抜いておいてください。

導入の手順フロー

Laneed

プロバイダなどとの契約を済ませ、
CATVまたはADSLモデムの設定を完了しておきます。



パッケージの内容を確認します。➡P6



作業の前に注意事項をお読みください。➡P2



本製品とコンピュータなどを接続します。➡P16



本製品に接続するコンピュータのネットワーク設定を確認します。➡P18



本製品の設定ユーティリティを使って、基本的な内容を設定します。➡P22



インターネットに接続しています。➡P29



無線LANのコンピュータから本製品に接続できるように設定します。➡P30
※動作確認後は不正アクセスを防ぐためESS IDを変更してください。



プリントサーバ機能を利用する場合は、ソフトウェアをインストールして
必要な設定をします。➡P53



必要に応じてルータや無線LANのオプション機能を設定します。➡P36

●導入後はユーザ登録(➡P7参照)をおこなってください。

はじめに	1
安全にお使いいただくために	2
導入の手順フロー	4
もくじ	5
1. パッケージの内容を確認する	6
2. 製品の保証とユーザ登録	7
3. 本製品の概要について	8
・ 本製品の特長	8
・ 本製品の動作環境	9
・ 各部の名称とはたらき	10
4. 作業前に必要なこと	12
5. 本製品を接続する	15
6. コンピュータ側の設定をする	18
・ Windows Me/98/95	
での設定	18
・ その他のOSでの設定	21
7. インターネットへ接続する	22
・ 設定をはじめる前に	22
・ 設定ユーティリティを	
表示する	23
・ 基本設定をおこなう	24
・ インターネットへ接続する	29
8. 無線LANを使う	30
・ 無線LANだけで	
本製品を使う場合の注意	30
・ 無線LANで接続する	31
・ ESS IDを変更する	33
9. 設定画面のリファレンス	36
・ システム状態	36
・ 管理者設定	37
・ 基本設定	38
・ DHCPサーバ	39
・ バーチャルサーバ	40
・ 特殊AP	42
・ MACドレスフィルタリング	43
・ アクセス制御	45
・ その他の項目	47
・ 無線LAN設定	48
・ WEPを設定する	49
・ ファームウェアを更新する	51
10. プリントサーバ機能を利用する	53
・ ソフトウェアを	
インストールする	53
・ プリンタの設定をする	55
11. こんなときは	57
12. サポートサービスについて	61
13. 基本仕様	63

Laneed

●4ポートスイッチングHUB機能付
ブロードバンド無線ルータ
LD-WBBR4 1台



ほかに利用できるソフト

① 3D-CGソフト「3ds max」
 3D-CG制作ソフト。3Dモデリング、アニメーション、レンダリングなど、3D制作のほぼすべての作業が可能。3D-CG制作の標準ソフトとして、世界中で広く利用されている。3D-CG制作の基礎から応用まで、幅広く対応している。3D-CG制作の基礎から応用まで、幅広く対応している。

② 3D-CGソフト「Blender」
 3D-CG制作ソフト。3Dモデリング、アニメーション、レンダリングなど、3D制作のほぼすべての作業が可能。3D-CG制作の標準ソフトとして、世界中で広く利用されている。3D-CG制作の基礎から応用まで、幅広く対応している。3D-CG制作の基礎から応用まで、幅広く対応している。

③ 3D-CGソフト「Houdini」
 3D-CG制作ソフト。3Dモデリング、アニメーション、レンダリングなど、3D制作のほぼすべての作業が可能。3D-CG制作の標準ソフトとして、世界中で広く利用されている。3D-CG制作の基礎から応用まで、幅広く対応している。3D-CG制作の基礎から応用まで、幅広く対応している。

3D-CGソフト「Blender」のインストール

3D-CG制作ソフト。3Dモデリング、アニメーション、レンダリングなど、3D制作のほぼすべての作業が可能。3D-CG制作の標準ソフトとして、世界中で広く利用されている。3D-CG制作の基礎から応用まで、幅広く対応している。3D-CG制作の基礎から応用まで、幅広く対応している。

① Blenderのインストール
 Blenderのインストールは、Blenderの公式サイトからダウンロードして行う。Blenderの公式サイトは、<http://www.blender.org/>である。Blenderの公式サイトからダウンロードして行う。Blenderの公式サイトは、<http://www.blender.org/>である。

② Blenderのインストール
 Blenderのインストールは、Blenderの公式サイトからダウンロードして行う。Blenderの公式サイトは、<http://www.blender.org/>である。Blenderの公式サイトからダウンロードして行う。Blenderの公式サイトは、<http://www.blender.org/>である。

③ Blenderのインストール
 Blenderのインストールは、Blenderの公式サイトからダウンロードして行う。Blenderの公式サイトは、<http://www.blender.org/>である。Blenderの公式サイトからダウンロードして行う。Blenderの公式サイトは、<http://www.blender.org/>である。

保 証 書	
品名 機器	
ご購入先住所	〒 市 区 町
保証期限	1年間
お 客 様	
ご 姓 名	
TEL.	()
E-MAIL	
ご購入 製品は保証期間内に購入した製品にのみ保証が有効となります。 保証は条件付きです。	
保証内容	
1.保証期間内に発生した故障は、修理費用は無料です。 2.保証期間外に発生した故障は、修理費用は有料です。	

2 製品の保証とユーザ登録

Laneed

製品の保証とサービス

本製品は、保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますので、ご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

●修理の依頼

61ページ「修理の依頼」をお読みください。

●その他のご質問などに関して

61ページ「12.サポートサービスについて」をお読みください。

製品の保証とサービス

製品の導入が完了したらユーザ登録をおこなってください。お客様のユーザ登録は、インターネットからのオンライン登録または付属のハガキで登録することができます。

●オンラインでの登録

弊社ラニード・ホームページから登録が可能です。

ホームページアドレス：<http://www.elecom-laneed.com>

●付属のユーザ登録カードでの登録

必要事項をご記入の上、ご投函ください。品番とシリアル・ナンバーは控えておいてください。裏面のアンケートにもお答えください。ご意見は、今後の製品開発などに役立てていきます。

3 本製品の概要について

Laneed

本製品の特長

●ブロードバンドルータと無線LAN機能がひとつに

CATV/ADSLなどでインターネットを楽しむブロードバンドルータと無線LAN機能がひとつになりました。これにより、本製品1台で無線LANによるブロードバンドを利用した高速インターネットができるようになりました。

●4ポート10/100Mbpsスイッチング機能を搭載

有線LAN用に10BASE-T、100BASE-TX対応のスイッチングHUBを4ポート搭載しています。無線LANとは別に最大4台までの有線ネットワーク機器を接続することができます。また、100BASE-TX対応なので有線LAN部分では、より高速なデータ転送を実現できます。

●プリントサーバ機能も搭載

ネットワーク上の各コンピュータから本製品に接続したプリンタへ自由に印刷することができます。Microsoftネットワーク共有サービスのプリンタ共有のように、プリンタを接続したコンピュータを起動しておく必要はありません。専用ドライバをインストールすれば、あとはプリンタポートとIPアドレスを設定するだけの簡単設定です。

●PPPoEに対応

PPPoE(PPP over Ethernet)に対応していますので、PPPoEによる認証が必要なインターネット・サービス・プロバイダに接続する場合でも自動的に接続できます。

●プロバイダと1契約で複数のパソコンからアクセス可能

NAT/IPマスカレード機能により、グローバルIPアドレスをローカルIPアドレスに自動的に変換します。これにより、ひとつのグローバルIPアドレスで複数のパソコンからインターネットへの同時アクセスができるようになります。プロバイダとは1契約だけでかまいません。

●TCP/IPプロトコルならWindowsマシン以外でもインターネットへ接続可能

Windowsマシンに限らず、Macintosh、LinuxなどのOSからでもTCP/IPプロトコルが設定できるOSであれば、本製品を経由してインターネットに接続することができます。

●わずらわしい設定が不要なDHCPサーバ機能を搭載

DHCPサーバ機能により、各クライアントにローカルIPアドレスを自動的に割り当てることができます。

●Webブラウザ対応の設定ユーティリティによる簡単設定

専用ソフトを必要とせず、パソコンのブラウザからWeb設定ユーティリティにアクセスすることで各種設定ができます。

●ネットワーク対戦ゲームなども利用可能

LANのIPアドレスを固定する静的IPマスカレードに対応しています。固定IPアドレスが必要な対戦ゲームなどを楽しむことができます。

※一部のアプリケーションで対応しないものがあります。

●各種セキュリティ機能を搭載

NAT/IPマスカレード機能により、通常はWAN側からLAN側のコンピュータにアクセスすることはできません。また、IPアドレスおよびポートによるパケットフィルタリングが可能です。

●バーチャルサーバ機能に対応

通常ではWAN側(インターネット側)からLAN側のコンピュータにアクセスできませんが、バーチャルサーバ機能を利用すると、ローカルネットワークにある特定のパソコンだけにインターネットからのアクセスを許可することができます。これにより、特定のパソコンをサーバマシンとして使用することもできます。

●ファームウェアのアップデートが簡単

設定ユーティリティから簡単にファームウェアのアップデートができます。

本製品の動作環境

本製品はTCP/IPプロトコルを利用できるコンピュータおよびOSで使用できます。ただし、プリントサーバ機能が利用できるのは、次のとおりです。

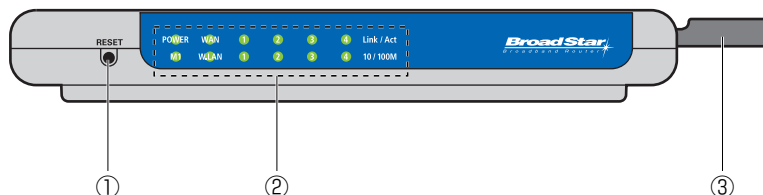
対応機種	PC/AT互換機(DOS/V)、NEC PC98-NXシリーズ
対応OS	Windows Me, Windows 98, Windows 95, Windows 2000, Windows NT 4.0
対応プリンタ	セントロニクス36ピンのプリンタポートを持つ製品

※一部動作しないものがあります。

最新の動作環境については、弊社ラニードホームページ(<http://www.elecom-laneed.com>)をご覧ください。

各部の名称とはたらき

■前 面



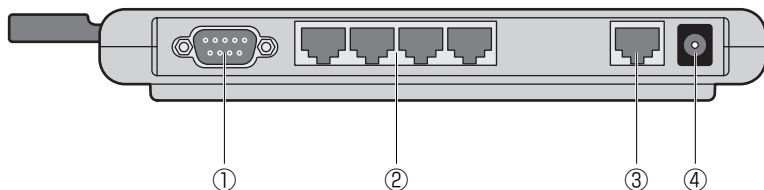
①	RESET		本製品を工場出荷時の状態にリセットします。リセットの手順は下記を参照してください。
②	LED インジ ケータ	Link/Act	各LANポートのリンク状態などを表示します。正常にリンクが確立しているときに緑色に点灯します。また、データの送受信時は点滅します。
		10/100M	各LANポートの伝送速度を表示します。接続先のネットワークの伝送速度を表示します。点灯(緑)しているときは、100Mbps環境で接続されています。消灯しているときは、10Mbps環境で接続しています。
		WAN	WAN(インターネット)側に接続されたモデムなどの機器とリンクが確立しているときに点灯します。
		WLAN	無線LANアダプタから受信したときに点灯します。
		POWER	本製品の電源が入っているときに点灯します。
		M1	本製品が正常に動作している場合は1秒間隔で点滅します。異常があると点滅/点灯状態が変化します。
③	無線LANユニット		コンピュータの無線LANアダプタと本製品を接続するアクセスポイントの役割をする部分です。 アンテナ部には、2個のLEDインジケータがあります。 Power：無線LANユニットに正常に電源が供給されているときに点灯(オレンジ)します。 Connection：無線LANが正常に動作しているときに、点灯(黄)します。



リセットの手順

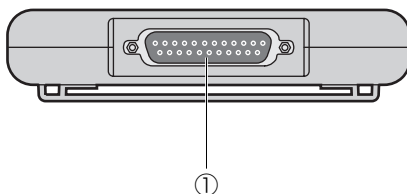
- ①本製品の電源を切っておきます。
- ②シャープペンシルの先などでリセットボタンを押しながら、本製品の電源を入れます。
- ③いったんリセットボタンからペン先を離し、もう一度リセットボタンを押します。
- ④しばらくしてM1インジケータが1秒間隔で点滅するようになればリセットは完了です。

■背 面



①	シリアルポート	Telnet経由で本製品の設定をおこなう場合に使用します。
②	LANポート	コンピュータなどのネットワーク機器と接続します。
③	WANポート	CATV/ADSLなどのモデムと接続します。
④	DCジャック	本製品に付属のACアダプタの電源プラグを差し込みます。本製品に付属のACアダプタ以外は絶対に使用しないでください。

■左側面



①	プリンタポート	本製品のプリントサーバ機能を使用する場合、プリンタを接続します。接続できるプリンタはセントロニクス36ピンに対応したプリンタです。
---	---------	---

4 作業の前に必要なこと

Lanpeed

本製品は単独では利用できません。以下の準備が完了していることを確認してから接続作業を始めてください。また、無線LAN機能を使う場合、セキュリティ面で注意が必要です。無線LANで利用できるセキュリティ機能について理解しておいてください。

インターネット・サービス・プロバイダ(ISP)との契約など

●回線工事は完了していますか？

CATVやADSLのインターネット接続サービス業者との契約は完了していますか。また、屋内までの配線工事は完了していることを確認してください。

●プロバイダと契約は完了していますか？

ADSLサービスのような回線接続サービスは、フレッツADSLのように、プロバイダとの契約が別途必要な場合があります。このような場合は、契約した回線接続サービスで利用可能なプロバイダとADSL接続での契約をする必要があります。この契約が完了していないと回線が接続されていてもインターネットへアクセスすることはできません。

●CATV/ADSLモデムなど、他に必要な機器は準備できていますか？

CATVやADSLなどの回線と契約した場合、本製品と専用モデムを接続する必要があります。モデムを別途購入されるように契約している場合は、本製品とは別にモデムをご用意いただく必要があります。また、本製品と接続するネットワーク機器にはイーサネットポートが搭載されている必要があります。コンピュータ本体などに内蔵されていない場合は、別途イーサネットアダプタなどをセットアップしてください。各機器のセットアップ方法はそれぞれのマニュアルをお読みください。

●イーサネットケーブルをご用意ください

ご使用の環境に合わせて、別途イーサネットケーブルが必要です。10Mbps環境で接続する場合は、カテゴリー3以上のケーブルをご用意ください。100Mbpsの場合は、カテゴリー5以上のケーブルをご用意ください。

- ・モデム～本製品間でイーサネットケーブルが1本必要です。
- ・本製品の有線LAN用のLANポートと接続するネットワーク機器の台数に合わせてイーサネットケーブルが必要です。

設定に必要な情報の準備

本製品を設定する前に、プロバイダから提供された情報が記載された資料を準備しておいてください。

●一般的な情報の例

名 称※	内 容
IPアドレス	インターネットに接続するためのグローバルIPアドレスです。IPアドレスを固定的に割り当てる場合に必要です。インターネットに接続したときにプロバイダが自動的に割り当てる場合は不要です。
サブネットマスク	IPアドレスを固定的に割り当てる場合に必要です。
デフォルトゲートウェイ	IPアドレスを固定的に割り当てる場合に必要です。
DNSサーバアドレス	ご利用になるサービスによって必要な場合があります。プライマリとセカンダリの2種類があります。
ドメイン名	ご利用になるサービスによっては、設定が必要な場合があります。
ユーザ名/パスワード	PPPoEで接続する場合に必要です。
サービス名	PPPoEで接続する場合に必要なことがあります。

※これらの情報の名称は提供プロバイダによって異なります。



MACアドレスについて

本製品にはWAN側/LAN側、無線LANのそれぞれにMACアドレスが割り当てられています。各MACアドレスは本製品うら面の製品ラベルに記載されています。

WAN： WAN側のMACアドレスです。

LAN： LAN側のMACアドレスです。

WLAN： 無線LANのMACアドレスです。

無線LANのセキュリティについて

無線LANは電波でデータを送受信するので、知らない間にネットワークに不正アクセスされたり、電波を盗聴される可能性があります。そこで、本製品(アクセスポイント)や無線LANアダプタには不正アクセスや盗聴を防止するためのさまざまなセキュリティ機能を備えています。

●ESS ID(Extended Service Set ID)

もし、隣のオフィスが同じ製品もしくは同じ帯域を利用する無線LANを使用すると、ネットワークそのものが混信する恐れがあります。そこで他のネットワークと自分たちのネットワークを区別するためにESS IDと呼ばれるネットワークの名称を決めます。同じネットワークに所属するコンピュータには同じESS IDを設定することで、他のESS IDを持ったネットワークとは区別され、不正アクセスを防ぐことができます。

●MACアドレスフィルタリング

ネットワークアダプタには、1台ごとに「MACアドレス」と呼ばれる固有の番号が割り当てられており、世界中に同じMACアドレスを持つアダプタは存在しません。そこで、アクセスを許可する無線LANアダプタのMACアドレスだけを登録することで、その他のMACアドレスを持った無線LANアダプタからはアクセスできないように制限することができます。この機能をMACアドレスフィルタリングまたはアクセスコントロールといいます。

●WEP(Wired Equivalent Privacy)

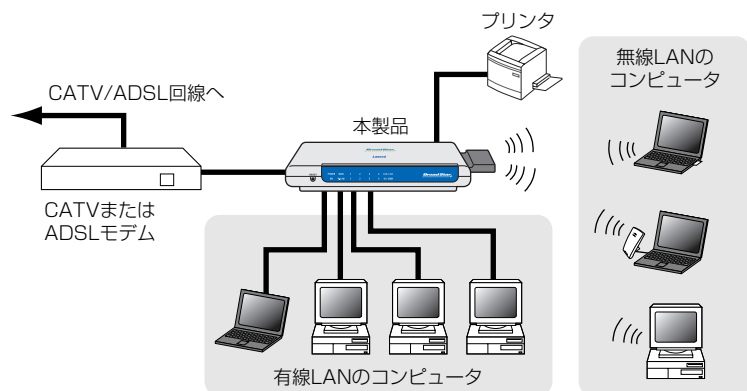
ESS IDやMACアドレスフィルタリングは、不正アクセスを防止するための機能ですが、それだけでは、特殊な装置を持った第三者に意図的に盗聴される恐れがあります。本製品では、さらにセキュリティを高めるために、WEPという機能を利用できます。WEPはデータを暗号化する機能で、暗号の元になるキーワードをひとつ決め、そのキーワードから作成された数値をキーとして暗号に利用します。同じネットワークの利用者だけに暗号を知らせることで、たとえ第三者が電波を盗聴してもデータを解読することができなくなります。

5 本製品を接続する

Lanreed

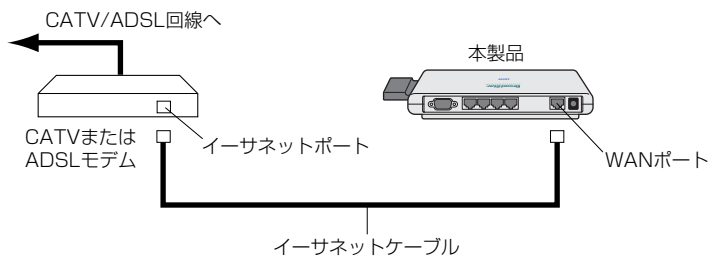
本製品の接続方法について説明します。プリンタについては、ブロードバンドルータ、無線LANが正常に動作していることを確認してから接続してください。接続方法については、53ページ「10.プリントサーバ機能を利用する」をお読みください。

●本製品を使った一般的な構成例



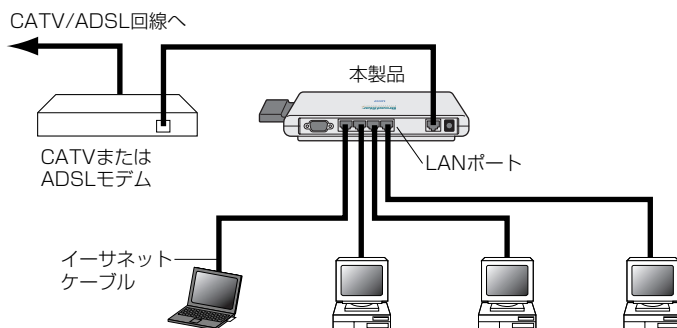
1 すべての機器の電源が切れていることを確認します。

2 すでに設置が完了しているCATVまたはADSL用のモデムのイーサネットポートと本製品のWANポートをイーサネットケーブルで接続します。



※ADSLモデムの場合、ADSL回線にアナログ電話機と分岐するためのスプリッタが接続されている場合があります。

- 3** ご使用になる環境に合わせて、本製品のLANポートと有線ネットワーク機器をイーサネットケーブルで接続します。



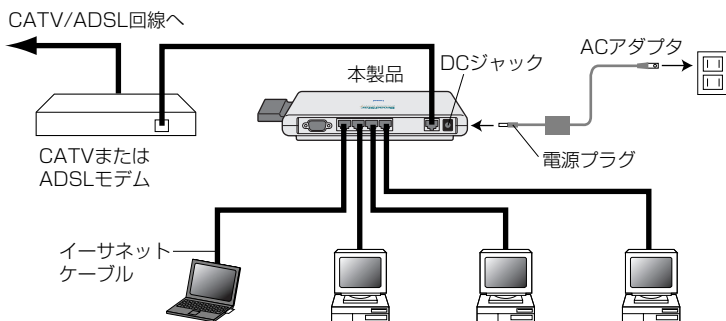
- ・最大4台のネットワーク機器を直接接続できます。本製品のイーサネットポートには伝送速度が10Mbpsまたは100Mbpsの機器を接続できます。伝送速度は自動的に判別します。



本製品を他のHUBと接続する場合は・・・

本製品はアップリンクポートがありませんので、クロスケーブルを使って他のHUBとデジチェーン接続してください。

- 4** 本製品に付属のACアダプタをACコンセントに差し込み、電源プラグを本製品のDCジャックに差し込みます。



- 5** モデムと本製品の電源が入った状態で、本製品の前面パネルにある「WAN」のLEDインジケータが点灯していることを確認します。



点灯していない場合は・・・

本製品とのリンクを示すLEDインジケータがモデム側でも点灯していない場合は、次のことを確認してください。

- ①イーサネットケーブルのコネクタがしっかりと差し込まれているかを確認してください。
- ②モデムにMDI-Xスイッチ(結線のストレートとクロス接続を切り替えるスイッチ)を切り替えて点灯するかどうか確認してください。点灯した場合はそのままの設定にしてください。

- 6** 本製品に接続されたコンピュータの電源を入れた状態で、本製品の前面パネルにある各ポートのLink/Actインジケータが点灯しているかを確認します。

それぞれのインジケータが正常に点灯していれば接続は完了です。各コンピュータの設定の確認に進んでください。

6 コンピュータ側の設定を確認する

Laneed

本製品を使ってインターネットへアクセスするコンピュータは、TCP/IPプロトコルに関する設定が必要です。ここでは、TCP/IPプロトコルの設定を確認する方法を説明します。すでにTCP/IPの設定が完了している場合は、22ページ「7. インターネットへ接続する」へ進みます。



有線LANでの接続については、TCP/IPプロトコルを使用できるコンピュータであればOSを問わず本製品を利用してインターネットに接続することができます。

Windows Me/98/95での設定

Windows Me/98/95でのTCP/IPに関する設定について説明します。なお、画面例はWindows Meを使用しています。Windows 98/95の画面と一部名称等が異なりますが設定する内容については同じです。

TCP/IPプロトコルの登録確認

利用するプロトコルとしてTCP/IPが登録されていることを確認します。

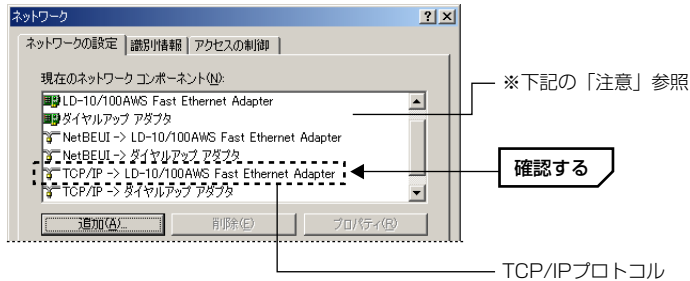
1

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択し、コントロールパネルにある「ネットワーク」をダブルクリックします。



- ・〈ネットワーク〉画面が表示されます。
- ・Windows Meでよく使うコントロールパネルだけが表示されている場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックすると「ネットワーク」が表示されます。

2 「現在のネットワークコンポーネント」の一覧にTCP/IPプロトコルが登録されていることを確認します。



- ご使用の環境により実際に一覧に表示されるイーサネットアダプタの名称やコンポーネントの内容は、この画面例とは異なります。
- アダプタがひとつしかない場合は、「TCP/IP」とだけ表示されます。ダイヤルアップアダプタなどがあるため、アダプタ名が複数ある場合は、「TCP/IP->(アダプタ名)」というように表示されます。(アダプタ名)に、ご使用中のイーサネットアダプタのアダプタ名が表示された「TCP/IP」プロトコルがあることを確認してください。



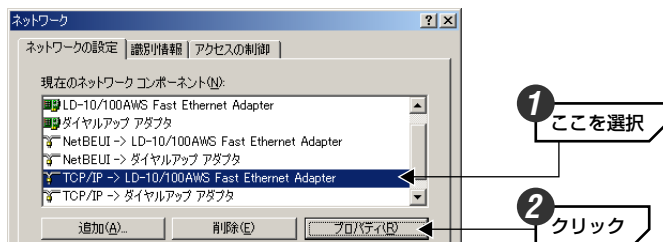
TCP/IPが登録されていない場合は・・・

- ①【ネットワークの設定】タブを表示した状態で **追加** ボタンをクリックします。
- ②一覧から「プロトコル」を選択し、**追加** ボタンをクリックします。
- ③「製造元」で「Microsoft」を選択すると、プロトコルの一覧が表示されます。
- ④プロトコルの一覧から、「TCP/IP」を選択し、**OK** ボタンをクリックします。
「現在のネットワークコンポーネント」にTCP/IPプロトコルが追加されます。
- ⑤ネットワーク画面を閉じるときに、Windows CD-ROMを要求されることがあります。この場合は、Windows CD-ROMをドライブに挿入し、メッセージに従ってください。
- ⑥再起動を促すメッセージが表示されますので、再起動してください。

IPアドレスの設定を確認する

〈ネットワーク〉画面を表示した状態で、そのままIPアドレスの設定を確認します。

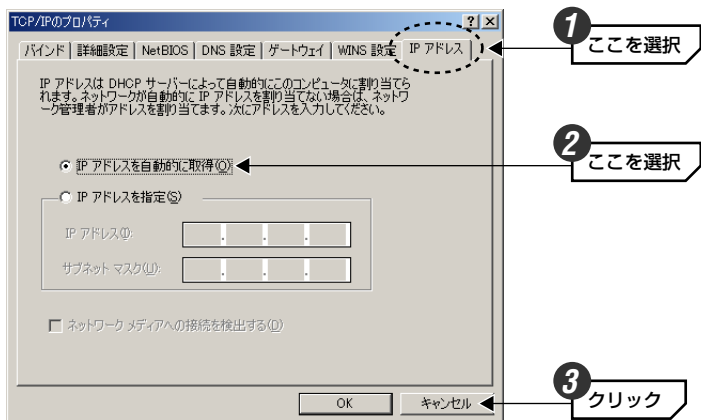
- 1 「現在のネットワークコンポーネント」の一覧でTCP/IPプロトコルを選択し、**プロパティ** ボタンをクリックします。



TCP/IPプロトコルが複数登録されている場合

ダイヤルアップアダプタなどが登録されているため、複数のTCP/IPプロトコルが表示されていることがあります。このような場合は、本製品と接続しているイーサネットアダプタ名称のTCP/IPを選択します。

- 2 【IPアドレス】タブを表示します。通常は「IPアドレスを自動的に取得」を選択し、**OK** ボタンをクリックします。





DHCPサーバを使用しない場合

IPアドレスを固定する必要がある場合などDHCPサーバを使用しないときは、「IPアドレスを指定」を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを設定してください。

その他のOSでの設定

Windows 2000/NT 4.0などでの設定

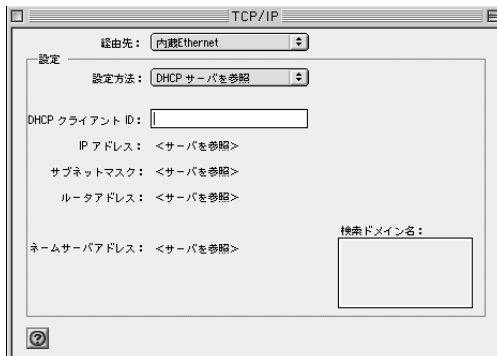
Windows 2000およびWindows NT 4.0でご使用になる場合は、サーバおよび各クライアントのネットワーク設定でTCP/IPプロトコルが設定されていることを確認してください。また、本製品および各クライアントのIPアドレスの設定がご使用になるネットワーク環境に適応した内容になっていることを確認してください。なお、本製品をクライアントとして使用する場合は、DHCPサーバ機能を「無効」にし、ご使用になるネットワーク環境に合わせてIPアドレスを割り当ててください。

●設定画面の表示方法

- ・ Windows 2000では、[スタート]→[設定]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]を選択し、「ローカルエリアの接続」をマウスで右クリックしてプロパティを表示します。なお、表示名称は異なることがあります。
- ・ Windows NT 4.0では、コントロールパネルの「ネットワーク」を選択します。

Mac OSでの設定

Mac OSの場合は、コントロールパネルにある「TCP/IP」を開き、[経由先]を「Ethernet」または「内蔵Ethernet」に設定し、[設定方法]を「DHCPサーバを参照」に設定してください。



7 インターネットへ接続する

Lanneed

インターネットに接続できるように基本的な設定をおこないます。ご契約されたプロバイダから提供された情報をご用意ください。設定が終わればインターネットに接続できるかをテストします。

設定をはじめる前に

本製品の設定は、ネットワーク上のコンピュータからInternet ExplorerなどのWebブラウザを使って設定ユーティリティにアクセスしておこないます。このとき、ネットワーク上に本製品と有線LANでつながったコンピュータがあるかないかで、設定の手順が異なります。

●有線LANでつながったコンピュータがある場合

ご使用のネットワークに本製品と有線LANによって接続されたコンピュータがある場合は、そのコンピュータから設定するようにしてください。

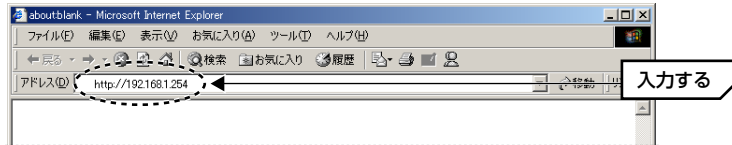
●有線LANでつながったコンピュータがない場合

無線LANを経由して本製品の設定ユーティリティにアクセスすることができます。この場合は、先に30ページ「8.無線LANを使う」をお読みになり、無線LANでの接続を確認してください。

設定ユーティリティを表示する

1 Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

2 ブラウザのアドレス入力欄に「http://192.168.1.254」と入力したあと、本製品のIPアドレスを入力し、**[Enter]** キーを押します。



- ・1度アクセスしてIPアドレスを変更している場合は、変更後のIPアドレスを入力します。
- ・正常にアクセスできると、設定ユーティリティの画面が表示されます。

3 画面の左フレームにある「システムパスワード」に「admin」と入力し、**[ログイン]** ボタンをクリックします。



- ・1度アクセスしてパスワードを変更している場合は、変更後のパスワードを入力します。



不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、あとでパスワードを変更するようにしてください(➡37ページ参照)。

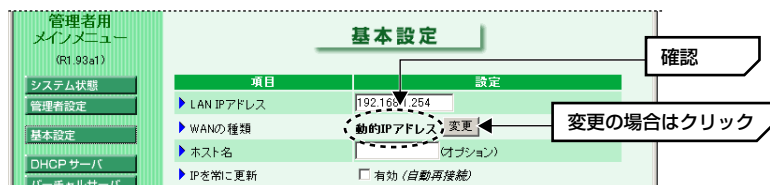
基本設定をおこなう

ご契約のプロバイダによって接続タイプが異なります。プロバイダから提供された資料を見ながら設定してください。

1 基本設定 ボタンをクリックします。



2 「WANの種類」を確認します。初期値は「動的IPアドレス」です。他の接続タイプの場合は「変更」ボタンをクリックします。



・「動的IPアドレス」とは、プロバイダから固定IPアドレスを割り当てられていない接続タイプです。この場合、プロバイダに接続するたびにIPアドレスが自動的に割り当てられます。

●ご契約のプロバイダの接続タイプが「動的IPアドレス」に当てはまる場合

➡26ページ手順 **4-B** へ進みます。

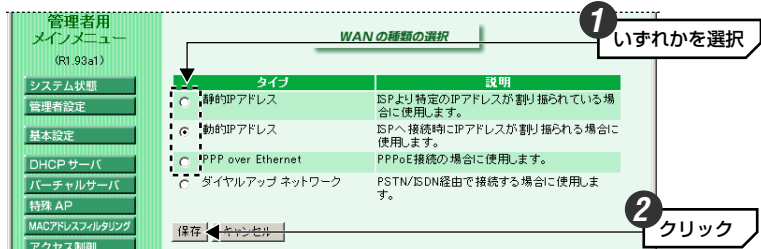
●その他の接続タイプの場合

動的IPアドレス以外に次の接続タイプがあります(詳しい説明は手順 **3** の表中にあります)。

- ・静的IPアドレス(固定IPアドレス)での接続タイプ
- ・PPPoEを利用する接続タイプ(フレッツADSLなど)

➡ **変更** ボタンをクリックしたら、手順 **3** へ進みます。

3 **変更** ボタンをクリックした場合は、接続タイプを選択して **保存** ボタンをクリックします。下表を参考にして、それぞれの説明へ進んでください。



接続タイプ	内 容	説明ページ
静的IPアドレス	プロバイダより固定IPアドレス(特定のIPアドレス)が割り当てられている場合に選択します。	このあとの手順 4-A へ進みます。
動的IPアドレス	プロバイダから固定IPアドレスを割り当てられていない場合に選択します。この場合、プロバイダに接続するたびにIPアドレスが自動的に割り当てられます。	次ページの手順 4-B へ進みます。
PPP over Ethernet	プロバイダから接続手順にPPPoEを利用して接続するように指定されている場合に選択します。(例)フレッツADSL	27ページの手順 4-C へ進みます。
ダイヤルアップネットワーク	TA(ターミナルアダプタ)やモデムを本製品のシリアルポートに接続することでルータ機能を利用できます。TAやモデムの機種によって正常に動作しない場合があります。なお、この機能については弊社でのサポート対象外とさせていただきます。	—

4-A 「静的IPアドレス」を選択した場合の設定方法です。プロバイダより提供された資料を参考に必要事項を入力します。すべての設定が終われば **保存** ボタンをクリックし、28ページの手順 **5** へ進みます。



LAN IPアドレス	本製品のIPアドレスです。本製品を接続するネットワークにすでに決まったIPアドレスがある場合にだけ変更します。
WANの種類	現在選択中のWANの種類(静的IPアドレス)が表示されます。
WAN IPアドレス	プロバイダより提供された固定のIPアドレスを入力します。
WANサブネットマスク	プロバイダより提供された数値を入力します。
WANゲートウェイ	
プライマリDNS	
セカンダリDNS	

4-B 「動的IPアドレス」を選択した場合の設定方法です。プロバイダより提供された資料を参考に必要事項を入力します。すべての設定が終われば **保存** をクリックし、28ページの手順 **5** へ進みます。

管理者用
メインメニュー
(R1 93a1)

システム状態
管理者設定
基本設定
DHCP サーバ
バーチャルサーバ
特殊 AP
WANステータス

基本設定

項目	設定
LAN IPアドレス	192.168.1.254
WANの種類	動的IPアドレス 変更
ホスト名	CATV (オプション)
IPを常に更新	☐ 有効 (自動再接続)

保存 ← **クリック** キャンセル ヘルプ

オプション項目は、プロバイダより設定の指示がある場合にだけ設定します。

LAN IPアドレス	本製品のIPアドレスです。本製品を接続するネットワークにすでに決まったIPアドレスがある場合にだけ変更します。
WANの種類	現在選択中のWANの種類(動的IPアドレス)が表示されます。
ホスト名(オプション)	CATV回線を利用するプロバイダが必要な場合があります。プロバイダからの指示がある場合に入力します。
IPを常に更新	通常は変更する必要はありません。 ☐ をクリックし ☒ にすると、システムの再起動やリース時間切れで回線が切断された場合、インターネットを使用していないときでも自動的にプロバイダに再接続します。

4-c 「PPP over Ethernet」を選択した場合の設定方法です。プロバイダなどから提供された資料を参考に必要事項を入力します。すべての設定が終われば **保存** をクリックし、次ページの手順 **5** へ進みます。

項目	設定
LAN IPアドレス	192.168.1.254
WANの種類	PPP over Ethernet 変更
PPPoE アカウント	xxxxx123@laneed-net
PPPoE パスワード	*****
最大アイドル時間	300 秒 ☐ 自動再接続

保存 キャンセル **その他の設定>>** リセット

このボタンをクリックするとオプション設定が表示されます。

PPPoE サービス名 (オプション)
割り当てられた IP アドレス (オプション)

※オプションはプロバイダより指示がある場合だけ入力します。

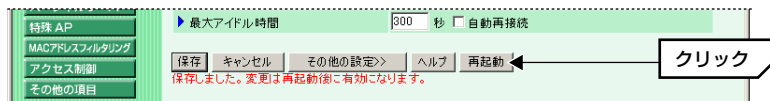
LAN IPアドレス	本製品のIPアドレスです。本製品を接続するネットワークにすでに決まったIPアドレスがある場合にだけ変更します。
WANの種類	現在選択中のWANの種類(PPP over Ethernet)が表示されます。
PPPoEアカウント	プロバイダより提供されたアカウントを入力します。
PPPoEパスワード	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。
最大アイドル時間	アイドル時間(インターネットにアクセスしていない時間)が設定した時間を超えるとPPPoEセッションを切断します。「0」を入力するか「自動再接続」を有効にすると、アイドル時間に関係なくPPPoEセッションは接続されたままになります。「自動再接続」を有効にしている場合は、システムを再起動したり、回線が切断されたあとでも、自動的にプロバイダに再接続します。
※PPPoEサービス名(オプション)	プロバイダよりサービス名およびIPアドレスを入力するように指示がある場合にだけ、サービス名またはIPアドレスを入力します。それ以外の場合にこの項目を入力するとトラブルの原因になります。
※割り当てられたIPアドレス(オプション)	

※1 アカウント等の名称はプロバイダによって異なります。例えば、アカウントはユーザー名やIDなどと表記されている場合があります。

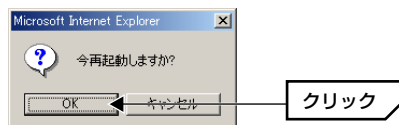
※2 この項目の設定が必要な場合は、**その他の設定>>** ボタンをクリックします。

- 5** 設定が終わり **保存** ボタンをクリックすると、「保存しました。変更は再起動後に有効になります。」と表示されます。

- 6** **再起動** ボタンをクリックします。



- 7** 再起動を確認するメッセージが表示されるので、**OK** ボタンをクリックします。



- 8** 本製品のシステムが再起動し、〈システム状態〉画面が表示されます。

これでブロードバンド接続に関する基本設定は完了です。インターネットに接続できるかを確認します。次ページの「インターネットに接続する」へ進みます。

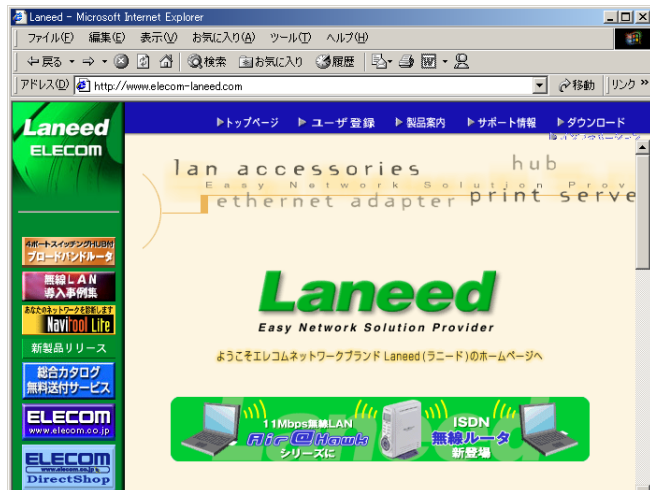
インターネットに接続する

設定が終わればインターネットに接続できるかをテストします。

1 Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

2 任意のホームページアドレスを入力し、 キーを押します。

◆例 http://www.elecom-laneed.comを入力した場合



※画面例の表示内容は更新により、変更されることがあります。

目的のホームページが表示されれば設定は完了です。正常に表示されない場合は、57ページ「11.こんなときは」をお読みください。

ブローバンドルータに関する他の詳細な設定項目については、36ページ「9. 設定画面のリファレンス」をお読みください。

8 無線LANを使う

Laneed

本製品の無線LAN機能を利用します。本製品は無線LANのアクセスポイントとして機能します。本製品に対応した無線LANアダプタを別途ご用意いただくと、ケーブルレスでブロードバンドによる高速なインターネットを楽しんだり、ネットワーク上のコンピュータとデータのやり取りができます。

無線LANだけで本製品を使う場合の注意

●導入時の注意

無線LANだけで本製品を使う場合、本製品と接続できる手段は、無線LANアダプタを持ったコンピュータからの接続だけになります。この場合、本製品と無線LANアダプタを持ったコンピュータで、ESS IDなど無線LANの設定が異なると接続することができません。接続できないということは、本製品の設定ユーティリティにアクセスできないため本製品側の無線LANの設定を変更することができません。そのため、次のような手順で無線LANの設定をおこなってください。

ご使用になるコンピュータに無線LANアダプタのドライバをインストールし、必要なネットワーク設定が完了した状態にします。

下記の設定に無線LANアダプタの設定を合わせます。

ESS ID : Laneed(大文字/小文字を区別)

通信モード : インフラストラクチャ・モード

WEP設定 : 無効(WEPを使用しない)

※弊社の無線LAN PCカード/USBアダプタは初期値にしておけば、そのまま本製品に接続できるように設定されています。

本製品を起動した状態で、無線LANアダプタのあるコンピュータを起動します。

Webブラウザを起動します。アドレスに「http://192.168.1.254」と入力し、**Enter** キーを押します。23ページ手順 **3** の画面が表示されれば無線LANは正常に動作しています。

このあと、ESS IDの変更や各種セキュリティの設定をおこないます。ESS IDが初期値のままだと、混信や不正アクセスの原因になりますので、ESS IDだけは必ず変更してください。

●設定変更時の注意

ESS IDおよびWEPを変更する場合は、先に本製品側の設定を変更し、次に無線LANアダプタ側の設定を変更します。先に無線LANアダプタ側の設定を変更すると、本製品の設定が変更前の状態のままなので、無線LANからは設定ユーティリティにアクセスできなくなります。



本製品の設定の変更は、無線LANからアクセスして変更できます。ただし、変更した設定を保存し、再起動した時点で本製品と無線LANアダプタとの間で設定内容が異なってしまうため、無線LANアダプタの設定を変更するまで接続できなくなります。

無線LANで接続する

本製品に無線LANで接続できるように設定します。

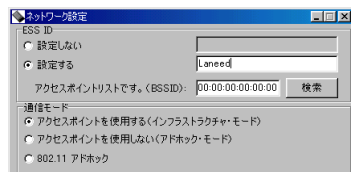
1 あらかじめ無線LANで接続するコンピュータについて、無線LANアダプタが正常に動作するように設定しておきます。

- ・ドライバのインストールを完了しておきます。
- ・プロトコルにTCP/IPが設定されていることを確認しておきます (➡18ページ)。
- ・「IPアドレスアドレスを自動的に取得」に設定されていることを確認します (➡20ページ)。
- ・ドライバのインストールについては、アダプタのマニュアルをお読みください。

2 無線LANアダプタのESS ID等の設定が次のようになっていることを確認します。

◆設定値

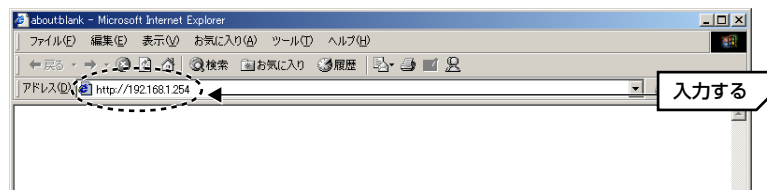
ESS ID	Laneed (大文字/小文字を区別)
通信モード	インフラストラクチャ・ モード(アクセスポイント を使用する)
WEP設定	無効(WEPを使用しない)



◆弊社製LD-WL11/PCCの例



弊社の無線LAN製品Air@Hawkシリーズの無線LAN PCカードと無線LAN USB アダプタは、初期値のまま設定を変更しないでください。そのままの設定で本製品に接続することができます。

3 本製品の電源が入っていることを確認します。**4** 無線LANアダプタを取り付けたコンピュータを起動します。**5** Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。**6** アドレスに「http://192.168.1.254」と入力し、**[Enter]** キーを押します。

7 本製品の設定ユーティリティが表示されれば、無線LANは正常に動作しています。



これで無線LANでの接続を確認できました。ESS IDが初期値のままだと、混信や不正アクセスの原因になりますので、ESS IDだけは必ず変更してください。

ESS IDを変更する

無線LANの混信や不正アクセスを防ぐため、ESS IDを初期値から別の内容に変更します。

本製品の設定ユーティリティに無線LANからアクセスしている場合は、必ず先に本製品側の設定を変更し、次に無線LANアダプタ側の設定を変更してください。

より高度なセキュリティを確保するためにはWEP(➡49ページ)やMACアドレスフィルタリング(➡43ページ)などを設定すると安心です。

1 本製品の設定ユーティリティを表示します。システムパスワードを入力し、**ログイン** ボタンをクリックします。

2 メニューで **無線LAN設定** ボタンをクリックします。

3 「ネットワークID(ESS ID)」に新しいESS IDを入力します。



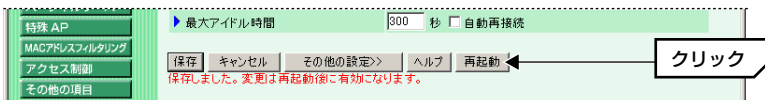
- ・ESS IDを半角英数字32文字以内で入力します。大文字と小文字が区別されます。



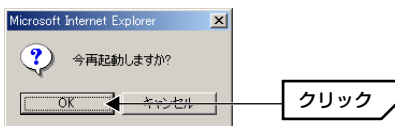
ここで設定した名称は、無線LANで接続するコンピュータすべて同じ名称にします。ESS IDの異なるコンピュータに接続することはできません。本製品のESS IDを「Tokyo」に設定した場合は、無線LANアダプタのESS IDが「Tokyo」のグループは接続できますが、無線LANアダプタのESS IDが「Osaka」のグループは接続できません。

4 設定が终れば、「保存」ボタンをクリックします。「保存しました。変更は再起動後に有効になります。」と表示されます。

5 「再起動」ボタンをクリックします。



6 再起動を確認するメッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。



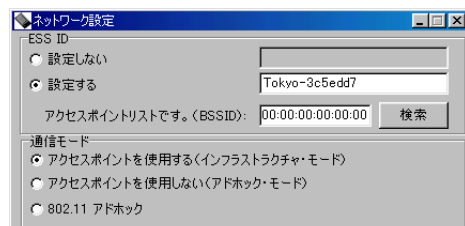
7 本製品のシステムが再起動し、〈システム状態〉画面が表示されます。



システムを再起動した時点で、無線LANから本製品に接続することができなくなります。

8 無線LANアダプタの設定ユーティリティを起動し、アダプタ側のESS IDを本製品に設定したESS IDに変更します。

◆弊社LD-WL11/PCCでの設定例



これで、新しいESS IDで本製品と無線LANアダプタが接続できるようになります。

より高度なセキュリティ機能として、MACアドレスフィルタリングやWEPを設定することができます。各機能の意味については14ページ「無線LANのセキュリティについて」をお読みください。設定方法については次ページ以降の「9.設定画面のリファレンス」をお読みください。

9 設定画面のリファレンス

Laneed

本製品の無線LAN機能を利用します。本製品は無線LANのアクセスポイントとして機能しますので、本製品に対応した無線LANアダプタを別途ご用意いただくと、ケーブルレスでブロードバンドによる高速なインターネットを楽しんだり、ネットワーク上のコンピュータとデータのやり取りができます。

システム状態

本製品のシステム状態を表示します。**更新** ボタンをクリックすると、内容を最新の状態に更新します。

項目	WAN の状態	サイドノート
IPアドレス		PPPoE
サブネット マスク	255.255.	
ゲートウェイ		
ドメイン ネーム サーバ	32.1. 32.2	
接続時間	00:00:02	切断

項目	周辺機器の状態	サイドノート
プリンタ	用意ができていません	

ヘルプ 更新 画面表示時間: 2001年7月14日 13:01:18

IPアドレス	WAN側の現在のIPアドレスを表示します。サイドノートには、接続タイプが表示されます。
サブネットマスク	WAN側の各アドレスを表示します。
ゲートウェイ	
ドメイン ネーム サーバ	
プリンタ	接続したプリンタの状態を表示します。準備ができていたときは、「レディ」と表示されます。 削除 ボタンが表示されているときは、印刷ジョブを削除することができます。

●接続タイプによって表示される項目

接続時間 (PPPoE接続の場合)	インターネットへの接続している経過時間を表示します。ボタンの内容については、画面の ヘルプ ボタンをクリックしてください。
残りリース時間 (動的IPアドレスの場合)	残りのリース時間を表示します。ボタンの内容については、画面の ヘルプ ボタンをクリックしてください。

管理者設定

本製品の管理者に関する設定をします。

●管理者のパスワード変更

第三者に設定を変更されないようにパスワードを設定します。初期値は「admin」ですが、不特定多数の人がコンピュータを利用するような環境では、必ずパスワードを定期的に変更するようにしてください。



パスワードを変更するには・・・

現在のパスワードを入力し、新しいパスワードを2回入力します。入力したら **OK** ボタンをクリックします。**クリア** ボタンをクリックすると入力した内容がクリアされます。

●その他の情報とコマンド

現在のファームウェアのバージョンとWAN側ポートのMACアドレスを表示します。

●各ボタンの説明

ログを見る	本製品の使用状態を保存したログを見ることができます。
再起動	設定を変更した場合などに、その内容を有効にするために本製品を再起動します。
バックアップ設定	現在の設定内容をファイルに保存します。詳しくは、次ページの「バックアップ設定」をお読みください。

(次ページへ続く)

MACアドレスを複製する	プロバイダによってはインターネットに接続しているコンピュータを管理するために、このコンピュータのMACアドレスを知らせなければならないことがあります。そのような場合にこのボタンを押すと、このコンピュータのMACアドレスをWANポートのMACアドレスとして設定してくれます。
初期設定に戻す	本製品に記憶された設定内容を工場出荷時の初期値に戻します。変更した内容はすべて初期値に戻ります。
ファームウェア更新	本製品の機能向上のためにファームウェアがバージョンアップされることがあります。ファームウェアをバージョンアップすることで最新の機能を利用できたり、動作が安定したりします。更新の方法については、51ページ「ファームウェアを更新する」をお読みください。

●バックアップ設定

現在の設定内容をファイルとして保存することができます。MACアドレスフィルタリングなどの各機能を設定しているときは、設定内容を保存しておくことをお勧めします。

- ① ボタンを押すと〈ファイルのダウンロード〉画面が表示されます。
 - ② 「このファイルをディスクに保存する」を選択し、**OK** ボタンをクリックします。
 - ③ 〈名前を付けて保存〉画面が表示されますので、場所とファイル名を指定して**保存** ボタンをクリックします。拡張子は「bin」にしておきます。
- ➡ これで保存は完了です。保存したファイルを読み込む場合は、ファームウェアの更新機能を使用します。方法については51ページをお読みください。

基本設定

接続タイプに合わせた基本設定の内容が表示されます。内容については、それぞれのページを参照してください。

静的IPアドレス ➡ 25ページ手順 **4-A** へ

動的IPアドレス ➡ 26ページ手順 **4-B** へ

PPPoE接続 ➡ 27ページ手順 **4-C** へ

DHCPサーバ

インターネットに接続するには、TCP/IPプロトコルが必要です。TCP/IPを使用するには、接続するクライアント(コンピュータ)を区別するために、ひとつひとつ異なったIPアドレスを割り当てる必要があります。クライアントの台数が多いネットワークでは、手でIPアドレスを割り当てると手間がかかります。DHCPサーバ機能を利用すると、ネットワーク上のクライアントに対して自動的にIPアドレスを重ならないように割り当てることができます。

項目	設定
DHCPサーバ機能	☐ 無効 ☒ 有効
IPプール開始アドレス	100
IPプール終了アドレス	199
ドメイン名	

保存 キャンセル その他の設定>> クライアント リスト 固定のマッピング ヘルプ

このボタンをクリックするとオプション設定が表示されます。

項目	設定
ゲートウェイ	0.0.0.0 (オプション)



設定を変更した場合は・・・

保存 ボタンをクリックしてください。**再起動** ボタンが表示されますので、「DHCPサーバ機能」以外の項目を変更した場合は、**再起動** ボタンをクリックして再起動してください。

●DHCPサーバ機能

DHCPサーバの有効/無効を設定します。通常は「有効」にします。IPアドレスを手動で割り当てる必要がある場合やネットワーク上に別にDHCPサーバがある場合は「無効」に設定します。

●IPプール開始アドレス/IPプール終了アドレス

DHCPサーバ機能を利用する場合、DHCPサーバがクライアントに自動的に割り付けるIPアドレスの範囲を指定します。開始アドレス～終了アドレスの範囲でクライアントにIPアドレスが自動的に割り当てられます。

●ドメイン名

この項目はオプション設定です。プロバイダよりドメイン名を入力するように指示がある場合に設定します。ここに設定された内容はクライアントに転送されます。

●ゲートウェイ

この項目はオプション設定です。プロバイダよりゲートウェイを入力するように指示がある場合に設定します。

● クライアントリスト ボタン

本製品のDHCPサーバ機能が管理しているクライアントの現在のIPアドレス、ホスト名、MACアドレスを表示します。

管理者用 メインメニュー (R1 93a1) システム状態 管理者設定 基本設定	DHCPクライアントリスト		
	IPアドレス	ホスト名	MACアドレス
	192.168.1.135	~WIN	5A
	192.168.1.139	_win	65
			戻る 更新

● 固定マッピング ボタン

クライアントのIPアドレスを固定したい場合に使用します。詳しくは43ページ「MACアドレスフィルタリング」をお読みください。

バーチャルサーバ

バーチャルサーバ機能は、LAN上にあるクライアント(コンピュータ)をインターネットサービスに開放することができる機能です。通常NAT変換を利用するルータでは、WAN側(インターネット側)からLAN上のクライアントにアクセスすることはできませんが、バーチャルサーバ機能を利用すると本製品のWAN側に対する接続要求をLAN側の特定のクライアントに転送することができます。

インターネットではサービスごとに接続ポートが決められているので、あらかじめ各サービス(ポート)に接続するクライアントを登録しておくことで、WAN側に接続要求があった場合に、ポートに対応したクライアントに転送することができます。



設定を変更した場合は・・・

保存 ボタンをクリックしてください。**再起動** ボタンが表示されますので、**再起動** ボタンをクリックして再起動してください。

インターネットサービスのポート番号を指定します。
手動入力のほか「コピー機能」を利用できます(下記参照)。

クライアントとなるコンピュータの
IPアドレスを指定します。

管理者用
メインメニュー
(R1.93a1)

システム状態
管理者設定
基本設定
DHCPサーバ
バーチャルサーバ
特殊 AP
MACアドレスフィルタリング
アクセス制御
その他の項目
無線 LAN 設定

ログアウト

バーチャルサーバ

ID	サービス	ポート番号	サーバIPアドレス	有効
1		110	192.168.1.201	☒
2		25	192.168.1.201	☒
3		21	192.168.1.202	☒
4			192.168.1.	☐
5			192.168.1.	☐
6			192.168.1.	☐
7			192.168.1.	☐
8			192.168.1.	☐
9			192.168.1.	☐
10			192.168.1.	☐
11			192.168.1.	☐
12			192.168.1.	☐

一般的なサービス -- 選択 -- IDへコピー ID

保存 キャンセル ヘルプ

コピー機能

サービスの有効/無効を設定します。

●テンプレート機能の使い方(リストにないサービスには利用できません)

- ①リストからサービスを選択します。
- ②サービスを割り当てるクライアントのID番号をリストから選択します。
- ③ **IDへコピー** ボタンをクリックします。

※この方法で設定すると、そのサービスが自動的に有効になりますのでご注意ください。

特殊AP

インターネットゲーム、ビデオ会議、インターネット電話などのアプリケーションでは、特定のポートへの接続を要求することがあります。通常NAT変換を利用するルータでは、WAN側(インターネット側)からLAN上のクライアント(コンピュータ)にアクセスすることはできませんが、特殊AP機能を利用するとアクセスすることができます。DMZ機能との違いは、指定したクライアントをWAN側に全面開放するのではなく、あくまでも指定された特定のポートだけを開放するため、指定外のポートへのアクセス要求は拒否することができる点です。なお、ポートが開放されるクライアントは、最初に対象となるアプリケーションを起動したクライアントだけです。なお、ポートが開放されるクライアントは、最初に対象となるアプリケーションを起動したクライアントだけです。



設定を変更した場合は・・・

保存

ボタンをクリックしてください。**再起動** ボタンが表示されますので、

再起動

ボタンをクリックして再起動してください。

使用するアプリケーションが発行するアウトバウンドポート番号を指定します。手動入力のほか「テンプレート機能」を利用できます(下記参照)。

トリガーパケットが検出されると開放するポート番号を指定します。連続したポート番号は「-」で指定することができます。「テンプレート機能」では自動的に入力されます。

ID	トリガー	インカミング ポート番号	有効
1	47624	2300-2400,28800-29000	☒
2	12053	12120,12122,24150-24220	☒
3			☐
4			☐
5			☐
6			☐
7			☐
8			☐

メジャーなアプリケーション: -- 選択 -- IDへコピー ID: -- --

保存 キャンセル ヘルプ

テンプレート機能

サービスの有効/無効を設定します。

●テンプレート機能の使い方(リストにないアプリケーションには利用できません)

- ①リストからアプリケーションを選択します。
- ②アプリケーションを登録するID番号をリストから選択します。
- ③ **IDへコピー** ボタンをクリックします。

※この方法で設定すると、設定が自動的に有効になりますのでご注意ください。

MACアドレスフィルタリング

本製品のMACアドレスフィルタリングは、有線LANのクライアント(コンピュータ)から無線LANで接続されたクライアントへの接続を許可/拒否の設定ができます。また、無線LANで接続されたクライアントから有線LANへのクライアントへの接続を許可/拒否できます。この機能ではクライアントの持つMACアドレスを登録するだけでなく、MACアドレスとIPアドレスを関連付けて、クライアントのIPアドレスを固定します。

MEMO

設定を変更した場合は・・・

保存

ボタンをクリックしてください。

再起動

ボタンが表示されますので、

再起動

ボタンをクリックして再起動してください。

MACアドレスフィルタリングの設定

項目	設定
MACアドレスフィルタリング	☒ 有効
有線LANインターフェイス	☐ 有効 コントロールテーブルの「コネクション」の項目にチェックを入れることにより、そのクライアントは本機へのアクセスが可能になります。 「コネクション」の項目にチェックを入れない場合、有線LANクライアントとの通信できません。 コントロールテーブルに登録されていないクライアントからのアクセスを 許可
無線LANインターフェイス	☐ 有効 コントロールテーブルの「コネクション」と「アソシエーション」の項目にチェックを入れることにより、そのクライアントは本機へのアクセスが可能になります。 「アソシエーション」項目にのみチェックを入れた場合は、無線LANクライアントとの通信できません。 コントロールテーブルに登録されていないクライアントからのアクセスを 拒否

●MACアドレスフィルタリング

MACアドレスフィルタリング機能の有効/無効を指定します。チェックすると有効になります。

●有線LANインターフェイス

チェックすると有効になります。この設定を有効にすると、コントロールテーブルに登録されたクライアントに対して、「コネクション」の設定状態が反映されるようになります。また、コントロールテーブルに登録されていない有線LANのクライアントから本製品へのアクセスについて許可/拒否を選択できます。

●無線LANインターフェイス

チェックすると有効になります。この設定を有効にすると、コントロールテーブルに登録されたクライアントに対して、「コネクション」と「アソシエーション」の設定状態が反映されるようになります。また、コントロールテーブルに登録されていない無線LANのクライアントから本製品へのアクセスについて許可/拒否を選択できます。

コントロールテーブル

クライアントのMACアドレスとIPアドレスを関連付けます。これにより、クライアントのIPアドレスは固定されます。また、クライアントごとのアクセス権限を設定できます。アクセス権限には「コネクション」と「アソシエーション」があります。1ページに付き4つのIDがリストされます。

クライアントのMACアドレスを指定します。
手動入力のほかテンプレート機能を使えます(下記参照)。

クライアントに割り当てるIPアドレスを指定します。

各クライアントの接続条件を設定します。

コントロールテーブル

ID	MACアドレス	IPアドレス	コネクション	アソシエーション
1	192.168.1.135	192.168.1.135	☒	☒
2		192.168.1.	☐	☐
3		192.168.1.	☐	☐
4		192.168.1.	☐	☐

クライアント: 5A:192.168.1.135 IDへコピー ID

前のページに戻る 次のページに進む 保存 キャンセル ヘルプ

テンプレート機能

ページを移動します。



本製品に接続しているすべてのクライアントのMACアドレスとIPアドレスは、〈DHCPサーバ〉画面の **クライアントリスト** ボタンをクリックすることで一覧で見ることができます。

●テンプレート機能の使い方(リストにないサービスには利用できません)

- ①リストからサービスを選択します。
- ②サービスを割り当てるクライアントのID番号をリストから選択します。
- ③ **IDへコピー** ボタンをクリックします。

※この方法で設定すると、そのサービスが自動的に有効になりますのでご注意ください。

●有線LANで接続されたクライアントの場合

有線LANクライアントではアソシエーションの設定は関係ありません。

コネクション→有効	すべての機能を利用できます。※
コネクション→無効	有線LANクライアントとの接続だけ許可されます。

●無線LANで接続されたクライアントの場合

無線LANクライアントではコネクションとアソシエーションの設定の組み合わせで条件が変わります。

アソシエーション→有効 コネクション→有効	すべての機能を利用できます。※
アソシエーション→有効 コネクション→無効	無線LANクライアントへの接続だけを許可します。
アソシエーション→無効 コネクション →有効または無効	アソシエーションが無効になっているクライアントは、コネクションの設定に関係なく本製品へのアクセスを拒否されます。そのため、すべての機能が利用できません。

※すべての機能とは、インターネットへのアクセス、プリントサーバの利用、有線LANおよび無線LANクライアントとの接続です。

アクセス制御

ユーザ(クライアント)をグループ分けし、グループごとにアクセスできるポートを制限することで、グループごとのアクセス権限を設定することができます。クライアントのIPアドレスを登録することでグループを設定できます。次にグループごとにポート番号を登録し、そのポートへのアクセスの許可または拒否を設定します。これにより、各グループは登録されたポートへのアクセスが許可または拒否されます。グループは3つまで設定できます。グループに含まれないクライアントはデフォルトグループとして、3つのグループとは別に登録したポートへのアクセスの許可または拒否を設定できます。



IPアドレスの固定について

アクセス制御ではクライアントをIPアドレスによって指定します。DNSサーバ機能を使っているとIPアドレスが動的に割り当てられるため、指定したIPアドレスが意図するクライアントと異なってしまう可能性があります。また、クライアントが意図的にIPアドレスを変更することも考えられます。画面下の **MACレベル** ボタンをクリックすると〈MACアドレスフィルタリング〉画面が表示されます。MACアドレスフィルタリングの「コントロールテーブル」を使うとクライアントのMACアドレスとIPアドレスを関連付けることで、クライアントとIPアドレスを固定することができます。



設定を変更した場合は・・・

保存 ボタンをクリックしてください。

設定したポートに対するアクセスの許可/拒否を設定します。

アクセス制御の有効/無効を設定します。

項目	設定
アクセス制御	☒ 有効
▶ デフォルトグループ	グループ1から3を除いた全ての端末がこのグループに入ります。
↳ 許可 ☐ ポート番号	
▶ グループ 1 メンバー	100-149
↳ 許可 ☐ ポート番号	25,53,80,110
▶ グループ 2 メンバー	150-99
↳ 拒否 ☐ ポート番号	21,119
▶ グループ 3 メンバー	
↳ 拒否 ☐ ポート番号	

保存 キャンセル MACフィルタ ヘルプ

〈MACアドレスフィルタリング画面〉を表示します。

グループにするクライアントのIPアドレスを入力します。4組で構成されるアドレスの最後のアドレスだけを入力します。連続するIPアドレスは「-」で指定することができます。

アクセスを制御するポート番号を指定します。連続したポート番号は「-」で指定することができます。

その他の項目

項目	設定	有効
DMZホストIPアドレス	192.168.1.1	☐
リモート管理者ホスト	0.0.0.0	☐
管理者タイムアウト	300 秒 (0に設定すると無効になります)	
WAN側からPINGを受け付けない		☐
非標準FTPポート	0	

保存 キャンセル ヘルプ



設定を変更した場合は・・・

保存 ボタンをクリックしてください。**再起動** ボタンが表示されますので、
 ▶(青)マークが付いている項目を変更した場合は、**再起動** ボタンをクリックして再起動してください。

●DMZホストIPアドレス

WAN側に開放したいコンピュータのIPアドレスを指定します。チェックボックスをチェックすると、指定したIPアドレスがDMZホストとしてWAN側に開放されます。



DMZ機能とは・・・

通常NAT変換を利用するルータでは、WAN側(インターネット側)からLAN上のコンピュータにアクセスすることはできないため、インターネットゲームなどを利用することができません。DMZ機能を利用すると指定したクライアント(コンピュータ)へのWAN側からのアクセスを許可するのでインターネットゲームなどを楽しむことができます。



この機能を有効にすると、指定したIPアドレスを持つクライアントは、WAN側から自由にアクセスできるようになるため、不正侵入されやすくなります。この機能を利用するときはファイアウォールなどのセキュリティを十分に注意してください。

●リモート管理者ホスト

インターネット側から本製品の設定ユーティリティにアクセスしたい場合にWAN側から接続するコンピュータのIPアドレスを設定します。なお、LAN上でログインしているクライアントがあると接続できません。



リモート管理者ホストを有効にすると、Webサーバポート番号は88になります。クライアントから本製品にアクセスしても設定ユーティリティが表示されない場合は、IPアドレスのあとに「:88」と入力してください。

●管理者タイムアウト

タイムアウトする時間を設定します。設定時間を過ぎると自動的にタイムアウトし、設定ユーティリティを使用するには再度ログインする必要があります。「0」を入力するとタイムアウトしません。

●WAN側からPINGを受け付けない

チェックボックスをチェックすると、WAN側からのPINGを受け付けなくなります。

●非標準FTPポート

FTPポート番号は標準では21ですが、別のポート番号を使用するときに指定します。再起動すると設定は無効(0)になります。

無線LAN設定

無線 LAN 設定	
項目	設定
ネットワークID(ESSID)	Laneed
チャンネル	6
WEP(暗号化)の使用	☒ 無効にする ☐ 有効にする(64bit暗号キー) ☐ 有効にする(128bit暗号キー)
☒ 暗号キー-1	
☐ 暗号キー-2	
☐ 暗号キー-3	
☐ 暗号キー-4	

保存 キャンセル MACアドレス制御 ヘルプ

●ネットワークID(ESS ID)

半角英数字32文字以内で入力します。大文字と小文字が区別されます。本製品への接続を許可する無線LANアダプタのグループは、すべて同じESS IDを設定します。

●チャンネル

無線LANで使用する周波数帯のチャンネル番号を設定します。

●WEP(暗号化)の使用

次ページ「WEPを設定する」をお読みください。

● **MACアドレス制御** ボタン

本製品にアクセスする無線LANアダプタを制限することができます。このボタンをクリックすると、〈MACアドレスフィルタリング〉画面が表示されます。詳しい説明は43ページ「MACアドレスフィルタリング」をお読みください。

WEPを設定する

無線LAN上でやり取りされるデータを盗聴から保護するためにWEP(Wired Equivalent Privacy)に基づいてデータを暗号化します。WEPの設定をしていないクライアント(コンピュータ)は、データを読み取れなくなります。WEPについての説明は14ページ「WEP」を参照してください。

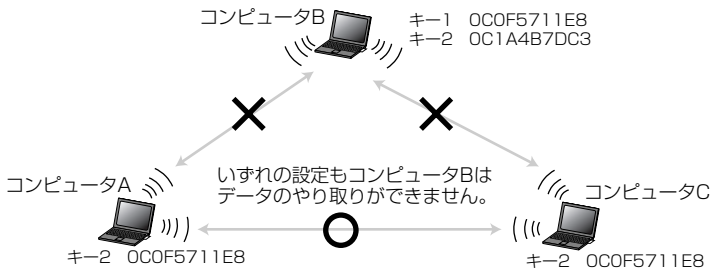


無線LANのクライアントから設定する場合

無線LANのクライアントから本製品の設定ユーティリティを起動している場合は、先に本製品側のWEP設定をおこない、次に無線LANアダプタのWEP設定をおこなってください。先に無線LANアダプタのWEP設定の内容を変更すると、本製品に接続できなくなります。

WEP設定のポイント

WEPキーにはキー1～キー4まであり、同時に4種類のキーを登録できます。コンピュータAとコンピュータBの間で暗号化したデータをやり取りする場合は、それぞれが同じWEPキー番号(キー1～キー4のいずれか)を選択し、同じキーワードを入力します。これで相互に暗号化されたデータを正しく受信できます。キー番号は4つありますが、実際に使用するのはひとつだけです。使用するWEPキー番号にだけ文字列を設定してもかまいません。WEPを設定しても暗号キーの文字列が異なったり、文字列が同じでも使用するWEPキー番号が異なったりすれば、データはやり取りできません。



WEPの設定手順

1 「WEP(暗号化)の使用」の中から使用するWEPを選択します。

WEP(暗号化)の使用 無効にする 有効にする(64bit暗号キー) 有効にする(128bit暗号キー)

いずれかを選択

無効にする	WEPを使用しません。
有効にする (64bit暗号キー)	64bitの暗号キーを使用します。10桁の16進数で表します。WEP40(40bit暗号化)と互換があります。無線LANアダプタがWEP40にしか対応していない場合はこちらを選択します。
有効にする (128bit暗号キー)	128bitの暗号キーを使用します。64bitよりも高度なセキュリティを確保できます。26桁の16進数で表します。

※16進数とは0～9の数字とA～Fのアルファベットで構成される文字列です。

2 4つの暗号キーの中から、実際に使用するキー番号を選択します。

暗号キー-1 暗号キー-2 暗号キー-3 暗号キー-4

いずれかを選択

- ・本製品およびデータのやり取りをする無線LANのクライアントには、同じ文字列の入った同じキー番号を指定する必要があります。

3 選択した暗号キーに16進数(0～9の数字とA～Fのアルファベットで構成される文字列)を入力します。

◆64bitの場合

暗号キー-1 暗号キー-2 暗号キー-3 暗号キー-4

115EC0DD0A

入力する

- ・64bitの場合は10桁の文字列を入力します。
- ・文字数は固定で、多くても少なくとも正しく設定できません。

◆128bitの場合

☐ 暗号キー-1	
☐ 暗号キー-2	
☒ 暗号キー-3	EF21C33B4712AD9E97E ←
☐ 暗号キー-4	

入力する

- ・128bitの場合は26桁の文字列を入力します。
- ・文字数は固定で、多くても少なくても正しく設定できません。

4 設定が終われば、**保存** ボタンをクリックします。**再起動** ボタンが表示されますので、**再起動** ボタンをクリックして再起動します。

5 保存を確認するメッセージが表示されますので、**OK** ボタンをクリックします。

これでWEPの設定は完了です。クライアントになるすべての無線LANアダプタに同じ設定をしてください。

ファームウェアを更新する

ファームウェアを更新すると本製品の機能が向上したり、動作が安定したりします。ファームウェアが更新されると弊社ラニード・ホームページ(<http://www.elecom-laneed.com>)にアップデートが掲載されますので、定期的に弊社ラニード・ホームページをご覧ください。

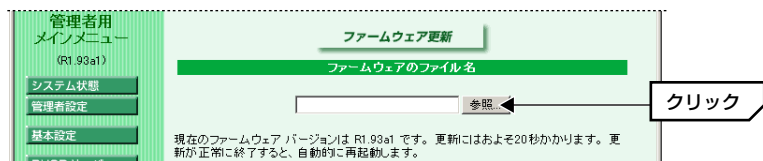
1 弊社ラニード・ホームページなどからアップデートをダウンロードしておきます。

2 本製品の設定ユーティリティを表示し、ログイン後に **管理者設定** ボタンをクリックします。

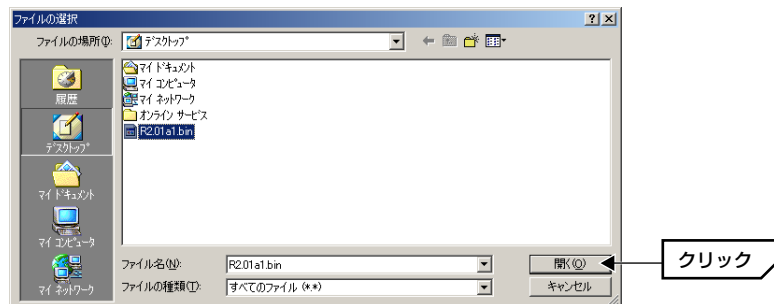
- ・画面の表示方法については、23ページをお読みください。
- ・〈管理者設定〉画面が表示されます。

3 **ファームウェア更新** ボタンをクリックします。

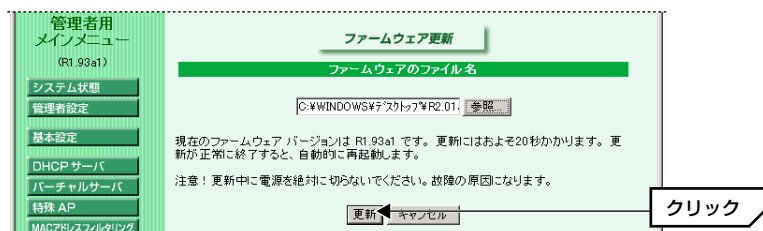
4 <ファームウェア更新> 画面で **参照** ボタンをクリックします。



5 アップデータのある場所とアップデータを選択し、**開く** ボタンをクリックします。



6 **更新** ボタンをクリックします。



・更新作業が始まります。



この間、安全のために他の操作はしないでください。

7 「正常に更新されました」と表示され、そのまま<システム状態>画面に戻ります。

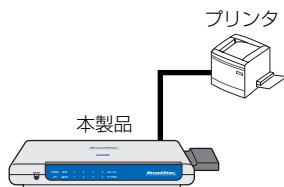
これでファームウェアの更新は完了です。

10 プリントサーバ機能を利用する

Laneed

本製品のプリンタポートにプリンタを接続すると、ネットワーク上の各クライアント(コンピュータ)からネットワーク経由で印刷できるようになります。Microsoftネットワーク共有サービスによる「プリンタ共有」ではプリンタを接続したコンピュータを起動しておく必要がありますが、プリントサーバ機能ではそのようなわずらわしさもありません。

●本製品とプリンタの接続方法



本製品とプリンタのプリンタポートをプリンタケーブル(セントロニクス36ピンコネクタ)で接続します。

ソフトウェアをインストールする

1 付録のCD-ROMをドライブに入れます。自動的にメニュー画面が表示されます。

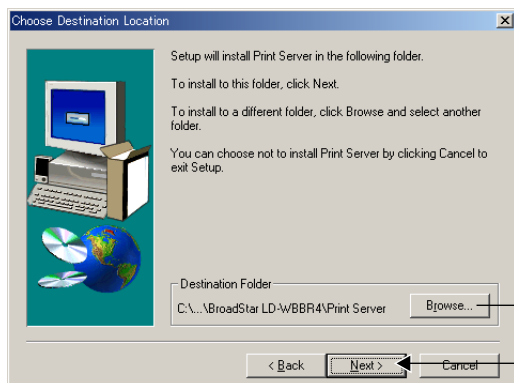
- ・メニュー画面が表示されない場合は、CD-ROMの内容を開き、「Install(.exe)」をダブルクリックします。

2 プリントサーバソフトウェアのインストール ボタンをクリックします。



3 〈Welcome〉 画面が表示されますので **Next** ボタンをクリックします。

4 インストール先を指定します。通常はそのまま変更する必要はありませんので、**Next** ボタンをクリックします。

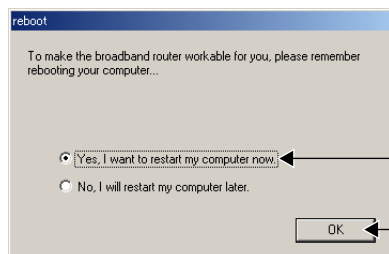


インストール先を変更したい場合は、ここをクリックしてインストール先を指定します。

クリック

5 〈Setup Complete〉 画面が表示されますので **Finish** ボタンをクリックします。

6 〈reboot〉 画面が表示されます。この機能を使用するには再起動する必要がありますので「Yes, I want to restart my computer now.」を選択し、**OK** ボタンをクリックします。



1 ここを選択

2 クリック

これでプリントサーバ用のソフトウェアはインストールされました。同じように各クライアントに、このソフトウェアをインストールし、このあとの「プリンタの設定をする」へ進みます。

プリンタの設定をする

ここでは、Windows Meの画面を使用しています。Windows 98/95も同じ手順で設定できます。



Windows 2000/NT 4.0での設定

この説明を参考に、印刷先のポートで「PRT:Print Server」を選択してください。

1

プリンタを使用するクライアント(コンピュータ)に、あらかじめプリントサーバ用ソフトウェアとプリンタのドライバをインストールしておきます。

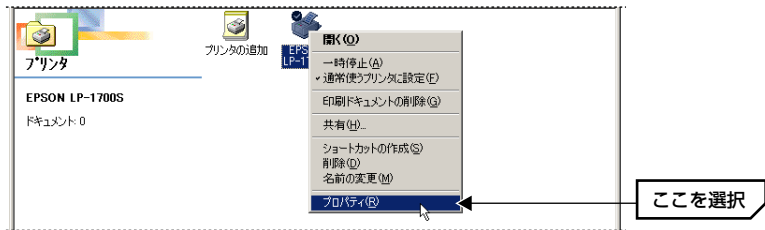
- ・プリントサーバ用ソフトウェアのインストール方法は、53ページ「ソフトウェアをインストールする」をお読みください。
- ・プリンタドライバのインストール方法はプリンタのマニュアルをお読みください。

2

【スタート】→【設定】→【プリンタ】を選択します。

3

使用するプリンタ名にマウスのポインタを合わせて右クリックします。「プロパティ」を選択します。



- ・ここでは、例としてプリンタにEPSON LP-1700Sを接続しています。

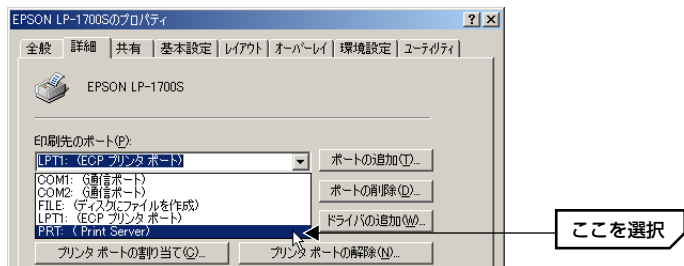
4

【詳細】タブを選択します。



- ・表示されるタブの数や種類はプリンタの機種によって変化します。

- 5** 「印刷先のポート」のプルダウンメニューを開き、「PRT:(PRINT Sever)」を選択します。

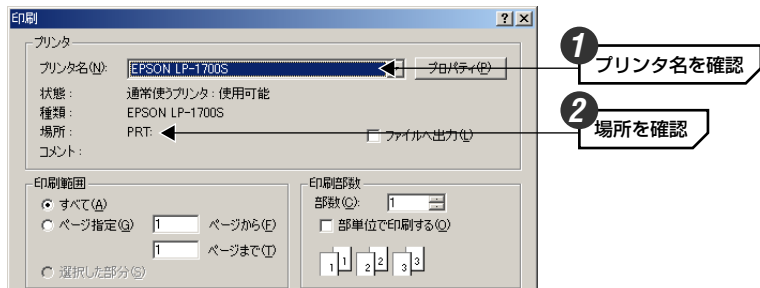


- 6** プリンタのプロパティの **OK** ボタンをクリックします。

・〈プリンタ〉画面を閉じます。

- 7** ワードプロソフトやWebブラウザなどで適当な内容を表示し、印刷機能を選択します。

- 8** 「プリンタ名」に使用するプリンタが、「場所」に「PRT」が選択されていることを確認し、表示されている内容をテスト印刷します。



- ・正常に接続されている場合は、「状態」に「使用可能」と表示されます。
- ・用紙設定等は環境に合わせて設定してください。

- 9** 設定が正しければ画面に表示されていたページが印刷されます。

これでプリントサーバ機能が利用できるようになりました。各クライアントで同じように設定してください。

インターネットに接続できない

- インターネットへ接続するための契約などはすべて完了していますか？ 屋内への回線引き込み工事およびモデムの準備は完了していますか？

➡すべての契約と工事が完了していないと、本製品のセットアップが終わってもインターネットに接続することはできません。

- 本製品およびモデムのPowerインジケータは点灯していますか？

➡電源コードまたはACアダプタが正しく接続されているか確認してください。ACアダプタは各製品に付属のものをお使いください。

- モデムとWAN側の回線は正しく接続されていますか？

➡モデムのLEDインジケータなどを確認してください。詳しくはモデムのマニュアルをお読みください。

- モデム～本製品間はイーサネットケーブルで正しく接続されていますか？ リンクは確立していますか？

➡イーサネットケーブルが正しく接続されていても、ストレート/クロスの変換が必要な場合があります。本製品のWANインジケータが点灯していない場合は、モデム側でストレート/クロスの切替スイッチを切り替えるなどしてください。

- 各コンピュータ(クライアント)と本製品はイーサネットケーブルで正しく接続されていますか？ リンクは確立していますか？

➡コンピュータを起動して本製品の各ポートのLinkインジケータが点灯しているかを確認してください。点灯していない場合はケーブルの接触不良や断線などが考えられます。

- 各コンピュータ(クライアント)にTCP/IPプロトコルが設定されていますか？ IPアドレスは自動取得になっていますか？

➡クライアント側のネットワーク設定が正しくないとインターネットに接続できません。プロトコルにTCP/IPが設定されているかを確認してください(➡18ページ参照)。ただし、ネットワーク管理者が存在するネットワークの場合は管理者に確認してください。

●各コンピュータ(クライアント)のWebブラウザのアドレスに、本製品のLAN側のIPアドレス(初期値は192.168.1.254)を入力すると、設定ユーティリティの〈基本設定〉画面が表示されますか？

→〈基本設定〉画面が表示される場合は、クライアント～本製品間は正常につながっています。表示されない場合は、ケーブルの問題またはコンピュータ側のネットワーク設定の問題が考えられます。また、クライアント側のIPアドレスなどが正常に取得されていないことが考えられます。Windows Me/98/95の場合は、コンピュータの[スタート]→[ファイル名を指定して実行]で「winipcfg」と入力し、そのクライアントのIPアドレスやサブネットマスクなどの情報を確認してください。これらの情報が正しくない場合は「解放」を選択し、再取得してください。

●プロバイダの接続タイプと、基本設定で設定した「WANの種類(接続タイプ)」が一致していますか？

→設定が異なると接続することはできません。接続タイプがわからない場合は、本製品の接続タイプを説明し、どのタイプが該当するかをプロバイダにお尋ねください。

●基本設定の設定内容は正しいですか？

→各項目の入力項目が正しいかを確認してください。特にパスワードは表示されませんので、入力ミスがあってもわかりませんのでご注意ください。

●PPPoE接続の場合、アカウント設定などにADSL接続専用の設定はありませんか？

→例えばフレッツADSLの場合、プロバイダから提供されるアカウントのあとに、プロバイダごとに識別子を設定する必要があります。詳しくはフレッツADSLなどADSL接続業者の説明書をお読みください。

無線LANアダプタから接続できない

●通信モードを正しく設定していますか？

→無線LANアダプタの設定で、通信モードが「アドホック・モード(アクセスポイントを使用しない)」に設定されていると、本製品を見つけることはできません。本製品を使用して通信する場合は、「インフラストラクチャ・モード(アクセスポイントを使用する)」に設定してください。

●無線LANアダプタから本製品の設定ユーティリティにアクセスする場合、本製品の設定をする前に、無線LANアダプタの設定を変更していませんか？

➡新規導入時に無線LANカードから本製品の機能を設定する場合は、無線LANアダプタの設定を初期値にしたまま、本製品に接続します。本製品を設定するより前に、無線LANアダプタの設定を変更してしまうと、本製品を見つけることができません。このような場合は、無線LANアダプタの設定ユーティリティでESS IDを「Laneed」に、WEPを使用しないに設定して接続してください。

●本製品と無線LANアダプタのESS IDは同じに設定されていますか？

➡無線LANアダプタのESS IDと本製品のESS IDが異なると、無線LANアダプタから本製品を見つけることができません。

●無線LANカードだけ、または本製品だけにWEPを設定していませんか？

➡一方だけにWEPを設定している場合は、無線LANカードから本製品を見つけることができません。そのため、無線LANカードから本製品の設定を変更することもできなくなります。

注：有線LANがない環境で本製品に間違ったWEP設定をした場合は、一時的に有線LANで設定ユーティリティに接続して変更するか、リセットを実行してください(➡10ページ)。ただし、リセットするとすべての内容が初期値に戻ります。

プリントから印刷できない

●プリンタの電源は入っていますか？ 本製品とプリンタはケーブルで接続されていますか？

➡プリンタの電源が入っているかを確認してください。また、プリンタケーブルにはセントロニクス仕様の36ピンケーブルが必要です。

●各クライアント(コンピュータ)に、付属のプリントサーバソフトウェアをインストールしましたか？ ポートの設定はしましたか？

➡プリントサーバ機能を利用するには、付属のCD-ROMからソフトウェアをインストールし、ポートなどを設定する必要があります。詳しくは53ページをお読みください。

●各クライアント(コンピュータ)に、プリンタドライバをインストールしましたか？

➡プリンタに付属するプリンタドライバをインストールしないと印刷できません。

●**双方向タイプのプリンタを使用していませんか？**

➡双方向タイプのプリンタの場合、双方向通信が有効になっていると印刷できないことがあります。プリンタのプロパティで双方向通信を無効にしてみてください。詳しくはプリンタのマニュアルをお読みください。

Windows Me/98/95でファイルを共有できない

ネットワークには接続できて相手側へ入れるようになったが、相手側のドライブやフォルダを使用ができないときは次の点を確認してください。

①[ネットワークコンピュータ]→[プロパティ]→「ネットワーク構成の一覧」に「Microsoftネットワーク共有サービス」が組み込まれているかを確認してください。組み込まれていない場合は[ファイルとプリンタの共有]のチェックボックスをチェックし、有効にして ボタンをクリックしてください。

②共有したいフォルダやプリンタに共有設定をおこなっているかを確認してください。

共有の方法は次のようにしてください。

- ・共有したいドライブやフォルダのアイコンを右クリックしてメニューの「プロパティ」を選択します。
- ・共有という項目を選択し、「共有しない」になっている設定を「共有する」に変更して ボタンをクリックしてください。

12 サポートサービスについて

Laneed

ラニード製品のサポートサービスについては、下記のラニード・サポートセンターへお電話またはFAXでご連絡ください。サポート情報、製品情報に関しては、FAX情報、インターネットでも提供しております。なお、サポートサービスを受けるためには、必ずユーザ登録をおこなってください。

●ラニード・サポートセンター

TEL : 03-3444-5571 FAX : 03-3444-8205

受付時間：月～金曜日 9:00～12:00 13:00～18:00

(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除きます)

※FAXによる受信は24時間おこなっております。

●インターネット

<http://www.elecom-laneed.com>

●FAX情報サービス

最寄りのサービス情報BOXセンターにお電話ください。

ガイダンスに従って取り出したい情報のBOX番号を指示してください。

メインメニューBOX番号(提供している情報の一覧がFAXされます)

559900

電話番号

東京：03-3940-6000 大阪：06-6455-6000

名古屋：052-453-6000 福岡：092-482-6000

札幌：011-210-6000 仙台：022-268-6000

広島：082-223-6000

●修理の依頼

本製品が故障した場合には、故障した製品と保証書に、故障状況を記入したものを添えてご連絡ください。

保証期間内

まずは、上記のラニード・サポートセンターまで電話またはFAXでご連絡ください。

保証期間外

東京都八王子市子安町3-5-2 セキエレクトロニクス株式会社内
エレコム修理センター
電話番号 0426-31-0271 FAX番号 0426-31-0272
受付時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00
(ただし、祝祭日および夏期・年末年始特定休業日は除く)
※FAXによる受信は24時間おこなっております。

●サポートセンターへお電話される前に

サポートセンターにお電話される前に次の事項を確認してください。

- ・このマニュアルの57ページ「11.こんなときは」をお読みにになりましたか。まだ、お読みでない場合は、お電話の前にお読みください。
- ・システムを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
- ・異常のある製品を取り付けたコンピュータの前から会話が可能な場合は、コンピュータの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックできますので、解決しやすくなります。
- ・FAXを送られる場合は、付属の別紙「トラブルシート」に、できるだけ詳しい内容をご記入ください。

次のことをお調べください。

●ネットワーク構成

使用しているネットワークアダプタ:

使用しているOS:

使用しているコンピュータ本体(メーカーおよび型番):

ネットワークを構成するコンピュータの台数とOSの構成:

ネットワークを構成するその他の関連機器(HUB、ルータ等) :

●具体的な現象について

具体的な現象:

事前にお客様が試みられた事項(あればお伝えください):

13 基本仕様

Lanneed

●ルータ部/本体仕様

商品名	11Mbps無線LANブロードバンドルータ
製品型番	LD-WBBR4
WAN側 インターフェイス	10Mbps RJ45ポート×1
LAN側 インターフェイス	10/100Mbps RJ45ワークステーションポート×4
規格	IEEE802.3/IEEE802.3u
対応回線	CATVインターネット接続、xDSL回線
通信速度	WAN側：10Mbps、LAN側：10Mbps/100Mbps
アドレス変換方式	NAT/IPマスカレード
セキュリティ	パケットフィルタリング NATによるファイヤウォール、パスワード管理
電源/消費電力	電源：DC12V(ACアダプタによる) 消費電力：最大9W
動作温度	5～55℃
動作湿度	10～90%(結露なきこと)
外形寸法	W206×D116×H20(mm) (突起物を除く)
プリンタポート	D-Sub 25pin(セントロニクス)
シリアルポート	D-Sub 9pin
付属品	ACアダプタ、CD-ROM(1枚)、クイックガイド、ユーザ登録カード、保証書

●無線LAN部仕様

規格	IEEE802.11/IEEE802.11b, RCR STD-33 ARIB STD-T66
周波数帯域	2.4GHz(2.412～2.4835GHz)
チャンネル	1ch～14ch
伝送方式	DS-SS方式(直接拡散スペクトラム拡散方式)
伝送速度	11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbps
伝送距離	11Mbps：屋内約60m/屋外約130m 5.5Mbps：屋内約100m/屋外約200m 1Mbpsおよび2Mbps：屋内約135m/屋外約270m
アクセス方式	インフラストラクチャ(APモード時)
アンテナ方式	ダイバーシティアンテナ(内蔵)
セキュリティ	ESS ID、WEP、MACアドレスフィルタリング、パスワード管理

Laneed

ELECOM

4ポートスイッチングHUB機能付 ブロードバンド無線ルータ

LD-WBBR4

ユーザーズマニュアル

発行 エレコム株式会社

2001年7月17日 第1版